中医弁証トレーニングシート

№28

年齢		歳	性別	男	○女	初診	1988.7.22	作成日	2019.10.20

主　　訴	哮喘（喘息型支気管炎）（P.456） 咳嗽と吐痰が既に3年続いていて、喘息が重くなって1年。
病　　史	患者は 1985 年秋に車に乗っていて寒さを感受し、咳嗽と喀痰が出現したので治療を受けたが、この後咳嗽がいつも出現した。時に軽く時に重く、一度でも寒涼に遇うと即その症状が重くなる。1986 年の 3 月に、気候の変化により寒涼の侵襲を受けた時、咳嗽はさらに重くなり、胸悶と気喘、喉中痰鳴が併せて出現し、息が苦しく臥すことも難しいので、即某医院の医療治療を受け、20 日後病情が好転したので退院した。が、間もなくまた寒涼を受けて、哮喘は更に重い発作を起こしたので、住んでいる近くの医院で輸液の点滴を受け、薬を飲んだら、病情は完解した。X 線での胸部透視検査：心肺に異常なし。診断は喘息型支気管炎。西洋薬、中薬を多次服用したが、其の治療効果ははっきりしなかったので、本院に治療を求めて来院した。
四診所見 （検査）	【望診・聞診・問診・切診】 ①神志清楚 ②語言流利 ③面色無華 ④動則喘甚 ⑤咳嗽 ⑥痰多色白 ⑦
舌　　診	⑭舌質：淡紅 ⑮舌苔：舌苔薄白
脉　　診	⑯脉：浮濡
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】

病性弁証	【気病弁証】気虚・気陥・気滞・気逆（肺気・胃気・肝気）・気随血脱・気虚失血・気血両虚 【血病弁証】血虚・血熱・血瘀・気滞血瘀 【津液不足弁証】 【津液病弁証】
病因弁証	【六淫弁証】風・寒・暑・湿・燥・火 【七情弁証】喜・怒・憂・思・悲・恐・惊 【飲食労倦弁証】傷食・中毒・過労・過逸
病　　機	
証　　名	
弁証分析	
主要な弁証類型	【中医数学診断学　　組】 【中医症状鑑別診断学】
治則治法	
配穴処方	
処方意義（按語）	